

決算補足説明資料

2016年度 第2四半期決算

2016年11月1日
田辺三菱製薬株式会社
証券コード: 4508



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ
広報部 TEL 06-6205-5211
FAX 06-6205-5105

目次

1	2016年度第2四半期 決算の概要			
	1. 2016年度第2四半期 業績サマリー	2. 2016年度 業績予想サマリー	3. 配当金	2
2	2016年度第2四半期 連結決算について			
	1. 損益状況			3
	① 損益実績			3
	② 主要製品売上収益			4
	2. 財務状況			5
	① 資産・負債・資本の状況			5
	② キャッシュ・フロー計算書			6
	③ 設備投資／情報システム開発投資	④ 減価償却費および償却費		7
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数			7
3	2016年度 業績予想について			
	① 損益予想			8
	② 主要製品売上収益予想			9
	③ 設備投資／情報システム開発投資予想	④ 減価償却費および償却費予想		10
4	5カ年連結財務数値			
	日本基準 ① 損益計算書	② 貸借対照表	③ その他財務数値	11
	IFRS基準 ① 損益計算書	② 財政状態計算書	③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
5	四半期業績の推移			
	① 損益計算書			13
	② 主要製品売上収益			14
6	新製品開発状況について(2016年11月1日現在)			
	① 自己免疫疾患	② 糖尿病・腎疾患		15
	③ 中枢神経系疾患	④ ワクチン		16
	⑤ その他疾患			17
	2016年度第1四半期決算発表時点(2016年8月2日)からの変更点			18
	新製品開発状況補足資料(2016年11月1日現在)			19
	① 自己免疫疾患	② 糖尿病・腎疾患		19
	③ 中枢神経系疾患	④ ワクチン	⑤ その他疾患	20
7	その他			
	1. 関係会社			21
	① 関係会社数	② 連結子会社一覧	③ 持分法適用関連会社およびジョイントベンチャー一覧	21
	2. 株式の状況			22
	① 発行済株式数	② 大株主の状況	③ 所有者別株式数分布状況	22
	④ 配当金／株価推移			22
参考	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース			
				23

1 2016年度第2四半期 決算の概要

(億円未満切り捨て)

1. 2016年度第2四半期 業績サマリー

売上収益	2,041 億円	前年同期比	20 億円	1.0 %
○国内	1,554 億円	前年同期比	42 億円	2.8 %
○海外	486 億円	前年同期比	△ 21 億円	△ 4.3 %

売上収益は、前年同期比+1.0%、20億円増収の2,041億円となりました。

国内医療用医薬品は、2016年4月の薬価改定の影響はあったものの、関節リウマチ治療剤「シンボニー」が国内の流通の一本化により大幅に伸長したほか、2型糖尿病治療剤「テネリア」、同「カナグル」等の重点品やワクチンの売上が伸長し、前年同期比3.2%増収の1,519億円となりました。

ロイヤリティ収入等は、ヤンセンファーマシューティカルズ社に導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメホルミンの合剤(即放性製剤)に係るロイヤリティ収入が為替の影響により減少したものの、ノバルティス社に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」に係るロイヤリティ収入が順調に伸長し、前年同期比2.7%増収の385億円となりました。

コア営業利益	479 億円	前年同期比	△ 17 億円	△ 3.5 %
--------	--------	-------	---------	---------

コア営業利益は、薬価改定に伴う原価率上昇による影響額が昨年度実施した早期退職制度による人件費の減少および研究開発費の減少を上回り、前年同期比△3.5%、17億円減益の479億円となりました。

営業利益	478 億円	前年同期比	△ 14 億円	△ 3.0 %
------	--------	-------	---------	---------

営業利益は、前年同期比△3.0%、14億円減益の478億円となりました。

コア営業利益において除外された非経常項目は、一部の子会社の事業譲渡益1億円および構造改革費用3億円等です。

税引前四半期利益	494 億円	前年同期比	△ 3 億円	△ 0.6 %
----------	--------	-------	--------	---------

親会社の所有者に帰属する四半期利益	362 億円	前年同期比	5 億円	1.6 %
-------------------	--------	-------	------	-------

税引前四半期利益は、前年同期比△0.6%、3億円減益の494億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比+1.6%、5億円増益の362億円となりました。

2. 2016年度 業績予想サマリー

売上収益	4,140 億円	前期比	△ 117 億円	△ 2.8 %
コア営業利益	850 億円	前期比	△ 219 億円	△ 20.5 %
営業利益	840 億円	前期比	21 億円	2.7 %
税引前利益	860 億円	前期比	27 億円	3.3 %
親会社の所有者に帰属する当期利益	640 億円	前期比	46 億円	7.9 %

3. 配当金

	2016年度		2015年度	
	上期末	年間(予想)	上期末	年間
1株当たり配当金(円)	24	48	22	46
配当性向	-	42.1%	-	43.5%

(注) 配当性向はIFRS数値で計算したものです

2 2016年度第2四半期 連結決算について

(億円未満切り捨て)

1. 損益状況

① 損益実績

(単位:億円)

	2016年度上期	前年同期比較			当初予想との比較			主なポイント(前年同期比較)
		2015年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	増減額	増減率%	
売上収益	2,041	2,020	20	1.0	1,930	111	5.8	海外売上高比率 2015年度上期:25.2% 2016年度上期:23.9%
国内	1,554	1,512	42	2.8	1,449	105	7.3	
海外	486	508	△ 21	△ 4.3	481	5	1.2	
売上原価	783	731	52	7.2	725	58	8.1	主に薬価改定の影響およびシンボ ニ一増販等製品構成の変化による 売上原価率上昇
売上原価率	38.4%	36.2%			37.6%			
売上総利益	1,257	1,289	△ 32	△ 2.5	1,205	52	4.4	
販管費	466	463	3	0.6	480	△ 13	△ 2.7	
販管費比率	22.9%	23.0%			24.9%			
研究開発費	303	318	△ 15	△ 4.9	335	△ 31	△ 9.5	
研究開発費比率	14.9%	15.8%			17.4%			
製品に係る無形資産償却費	7	7	△ 0	△ 0.1	7	0	5.3	
その他損益(注2)	△ 0	△ 2	1	-	△ 3	2	-	
コア営業利益	479	497	△ 17	△ 3.5	380	99	26.2	
非経常項目	△ 1	△ 4	2	-	-	-	-	
営業利益	478	492	△ 14	△ 3.0	380	98	25.8	
金融収益	18	15	3	25.1	-	-	-	
受取利息・受取配当金	13	14	△ 0	△ 6.0	-	-	-	
為替差益	5	-	5	-	-	-	-	
その他	0	0	△ 0	△ 92.7	-	-	-	
金融費用	2	10	△ 7	△ 72.8	-	-	-	
支払利息	0	1	△ 0	△ 12.6	-	-	-	
為替差損	-	6	△ 6	△ 100.0	-	-	-	
その他	2	3	△ 0	△ 32.6	-	-	-	
税引前四半期利益	494	497	△ 3	△ 0.6	385	109	28.3	
法人所得税	141	149	△ 8	△ 5.4	114	27	24.4	
四半期利益	352	347	5	1.5	271	81	30.0	
親会社の所有者に帰属 する四半期利益	362	357	5	1.6	285	77	27.4	
総人件費	357	397	△ 39	△ 10.1	375	△ 17	△ 4.6	

(注1) 2016年5月11日 2015年度決算発表時に公表した2016年度業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております

為替レート

(単位:円)

	2016年度上期 平均レート	2015年度上期 平均レート	2016年度 計画レート
米ドル	105.39	121.73	110.00
ユーロ	117.69	135.32	120.00

② 主要製品売上収益

(単位:億円)

	2016年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2015年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	1,519	1,473	46	3.2	1,411	107	7.6
レミケード	338	345	△ 6	△ 1.9	316	21	6.9
シンボニー	121	61	60	97.4	112	9	8.2
タリオン	74	64	10	16.1	66	7	11.7
テネリア(注2)	80	66	13	20.8	83	△ 2	△ 3.1
レクサプロ	55	43	11	26.3	56	△ 1	△ 2.0
セレジスト	64	73	△ 8	△ 12.1	62	2	3.7
メインテート	61	69	△ 8	△ 11.5	54	7	13.5
クレメジン	39	48	△ 8	△ 17.5	37	1	4.7
デパス	32	37	△ 4	△ 11.5	31	1	4.2
ウルソ	32	44	△ 11	△ 26.5	34	△ 2	△ 7.0
ラジカット	30	34	△ 4	△ 12.2	29	1	3.5
ワクチン	165	144	20	13.9	137	27	20.0
インフルエンザ	25	27	△ 2	△ 9.2	20	4	23.7
テトラビック	50	36	14	39.1	39	10	27.4
ミールビック	32	25	7	30.2	23	9	42.1
水痘ワクチン	28	33	△ 5	△ 15.2	29	△ 0	△ 3.3
田辺製薬販売取扱品(注3)	68	66	2	3.3	69	△ 1	△ 1.5
海外医療用医薬品	106	139	△ 32	△ 23.2	102	4	4.3
ヘルベッサ	28	31	△ 2	△ 7.7	29	△ 0	△ 2.8
アルガトロバン(ノバスタン)	10	12	△ 2	△ 20.3	8	1	18.4
タナトリル	9	8	1	13.8	9	0	2.8
シンボニー	6	6	0	7.5	7	△ 0	△ 7.6
ロイヤリティ収入等	385	374	10	2.7	382	2	0.6
ジレニア ロイヤリティ	275	258	17	6.6	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	90	99	△ 8	△ 8.8	非開示	-	-
一般用医薬品	19	20	△ 1	△ 7.4	22	△ 3	△ 13.8
その他(注4)	9	12	△ 2	△ 20.0	10	△ 0	△ 4.7
売上収益合計	2,041	2,020	20	1.0	1,930	111	5.8

(注1) 2016年5月11日 2015年度決算発表時に公表した予想数値

(注2) テネリアの前年同期の売上は、新旧スキームの合算値を示しております。

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注4) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

① 資産・負債・資本の状況

(単位:億円)

	2016年度 第2四半期末	構成比%	2015年度末	増減額	主なポイント
資産	9,654	100.0	9,584	69	
非流動資産	2,990	31.0	3,082	△ 91	
有形固定資産	866	9.0	840	25	設備投資+74億円、減価償却△35億円、除売却△3億円など
のれん	798	8.3	805	△ 6	
無形資産	526	5.5	559	△ 33	為替影響、製品に係る無形資産償却など
持分法で会計処理されている投資	2	0.0	2	△ 0	
その他の金融資産	568	5.9	655	△ 86	国内上場株式の時価評価による減少△43億円など
退職給付に係る資産	76	0.8	81	△ 5	
その他の非流動資産	5	0.1	6	△ 1	
繰延税金資産	147	1.5	131	15	
流動資産	6,663	69.0	6,501	161	
棚卸資産	753	7.8	756	△ 3	
売上債権(注1) (営業債権回転月数)	1,260 (3.71)	13.1	1,212 (3.42)	48	
その他の金融資産	3,047	31.6	3,516	△ 468	現金及び現金同等物への振替など
その他の流動資産	96	1.0	126	△ 29	
現金及び現金同等物	1,504	15.6	889	614	P6「② キャッシュ・フロー計算書」参照
負債	1,258	13.0	1,321	△ 63	
非流動負債	297	3.1	332	△ 34	
借入金	5	0.1	7	△ 1	
その他の金融負債	24	0.3	26	△ 2	
退職給付に係る負債	12	0.1	13	△ 1	
引当金	79	0.8	91	△ 11	
その他の非流動負債	110	1.1	119	△ 9	
繰延税金負債	65	0.7	74	△ 8	
流動負債	960	9.9	989	△ 28	
借入金	1	0.0	1	△ 0	
営業債務(注2)	360	3.7	326	34	
その他の金融負債	253	2.6	274	△ 20	
未払法人所得税	133	1.4	163	△ 29	
引当金	1	0.0	1	△ 0	
その他の流動負債	210	2.2	221	△ 11	
資本	8,396	87.0	8,263	132	
資本金	500	5.2	500	-	
資本剰余金	4,511	46.7	4,511	-	
自己株式	△ 4	△ 0.1	△ 4	△ 0	
利益剰余金	3,270	33.9	3,049	221	当期(四半期)利益362億円、配当金支払△134億円
その他の資本の構成要素	18	0.2	98	△ 80	
非支配持分	100	1.0	107	△ 7	

(注1) 売上債権には受取手形と売掛金及び貸倒引当金を含みます。

(注2) 営業債務には支払手形(除く営業外支払手形)と買掛金を含みます。

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2016年度上期	2015年度上期	増減額
現金及び現金同等物期首残高	889	733	155
営業キャッシュ・フロー	313	283	29
税引前四半期利益	494	497	△ 3
減価償却費及び償却費	50	51	△ 1
減損損失	0	6	△ 6
受取利息及び受取配当金	△ 13	△ 14	0
持分法による投資利益(△は益)	△ 0	△ 0	△ 0
有形固定資産売却損益(△は益)	△ 1	△ 2	0
営業債権の増減額(△は増加)	△ 52	9	△ 62
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 0	49	△ 50
営業債務の増減額(△は減少)	37	△ 56	94
引当金の増減額(△は減少)	△ 12	△ 6	△ 5
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△ 4	△ 8	3
利息・配当金の受取額	14	15	△ 0
利息の支払額	△ 0	△ 1	0
法人所得税の支払額	△ 169	△ 196	26
その他	△ 27	△ 60	32
投資キャッシュ・フロー	439	823	△ 384
定期預金の預入による支出	△ 6	△ 9	3
定期預金の払戻による収入	1,175	246	928
有形固定資産の取得による支出	△ 55	△ 77	21
有形固定資産の売却による収入	5	19	△ 13
無形資産の取得による支出	△ 9	△ 59	49
投資の取得による支出	△ 1,216	△ 360	△ 855
投資の売却及び償還による収入	545	1,029	△ 484
会社分割による収入	-	33	△ 33
その他	0	0	△ 0
財務キャッシュ・フロー	△ 120	△ 108	△ 11
非支配株主からの払込による収入	16	16	△ 0
配当金の支払額	△ 134	△ 123	△ 11
その他	△ 1	△ 1	△ 0
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△ 17	△ 5	△ 12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	614	993	△ 378
現金及び現金同等物期末残高	1,504	1,726	△ 222

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2016年度上期	2015年度上期	増減額	2015年度
設備投資額／発生ベース	74	46	27	112
システム投資額／発生ベース	8	4	3	9

2016年度上期の主な設備投資		2016年度上期の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	9億円	田辺三菱製薬	5億円
田辺三菱製薬工場 (吉富工場新製剤棟建設)	57億円 (50億円)		

④ 減価償却費および償却費

(単位:億円)

	2016年度上期	2015年度上期	増減額	2015年度
有形資産	35	36	△ 1	72
無形資産(製品に係るものを除く)	8	7	0	15
製品に係る無形資産	7	7	△ 0	14

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱製薬工場	田辺製薬販売	ミツピシタナベファーマホールディングスアメリカ	メディカゴ	天津田辺製薬	ミツピシタナベファーマコリア
売上収益	2016年度上期	148	68	27	1	24	22
	2015年度	289	138	44	2	52	45
	2015年度上期	148	66	19	1	25	23
営業利益	2016年度上期	14	1	1	△ 28	1	1
	2015年度	13	△ 7	△ 0	△ 61	2	2
	2015年度上期	17	△ 1	1	△ 26	2	1
当期利益	2016年度上期	10	0	0	△ 29	△ 0	1
	2015年度	9	△ 6	△ 2	△ 63	△ 0	2
	2015年度上期	11	△ 1	△ 0	△ 26	0	1
研究開発費	2016年度上期	3	-	14	29	1	-
	2015年度	7	-	32	62	2	-
	2015年度上期	4	-	14	28	1	-
有形固定資産 減価償却費	2016年度上期	8	0	0	1	0	0
	2015年度	18	0	1	4	1	0
	2015年度上期	8	0	0	2	0	0
資産合計	2016年度上期末	504	55	160	304	49	35
	2015年度末	485	63	178	331	53	36
	2015年度上期末	445	53	189	345	58	35
資本合計	2016年度上期末	377	2	148	210	27	26
	2015年度末	371	1	165	226	32	28
	2015年度上期末	372	△ 0	177	240	37	28
従業員数(人)	2016年度上期末	755	130	108	307	558	127
	2015年度末	839	156	85	291	562	128
	2015年度上期末	873	161	82	285	564	121

(注)上記財務数値は、内部取引消去前のものです。

① 損益予想

(単位:億円)

	2016年度 修正予想(注1)	当初予想との比較			前期比較			主なポイント(前期比較)
		当初予想(注2)	増減額	増減率%	2015年度実績	増減額	増減率%	
売上収益	4,140	4,065	75	1.9	4,257	△ 117	△ 2.8	海外売上高比率 2015年度:25.9% 2016年度予想:22.7%
国内	3,199	3,078	121	3.9	3,154	44	1.4	
海外	941	987	△ 45	△ 4.6	1,103	△ 162	△ 14.7	
売上原価	1,630	1,590	40	2.5	1,558	71	4.6	主に薬価改定の影響およびシン ポニー増販等製品構成の変化に よる売上原価率上昇
売上原価率	39.4%	39.1%			36.6%			
売上総利益	2,510	2,475	35	1.4	2,699	△ 189	△ 7.0	
販管費	979	985	△ 6	△ 0.6	963	15	1.6	
販管費比率	23.6%	24.2%			22.6%			
研究開発費	660	700	△ 40	△ 5.7	646	13	2.1	
研究開発費比率	15.9%	17.2%			15.2%			
製品に係る無形資産償却費	15	15	-	-	14	0	1.8	
その他損益(注3)	△ 6	△ 5	△ 1	-	△ 5	0	-	
コア営業利益	850	770	80	10.4	1,069	△ 219	△ 20.5	
非経常項目(注3)	△ 10	△ 15	5	-	△ 251	241	-	
営業利益	840	755	85	11.3	818	21	2.7	
税引前利益	860	770	90	11.7	832	27	3.3	
親会社の所有者に帰属 する当期利益	640	570	70	12.3	593	46	7.9	
総人件費	720	750	△ 30	△ 4.0	807	△ 87	△ 10.8	

(注1) 当社は2016年10月25日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) 2016年5月11日 2015年度決算発表時に公表した2016年度業績予想数値

(注3) 費用・損失の場合に△表示にしております

為替レート

	2016年度下期 修正計画レート	2015年度 平均レート
米ドル	100.00	120.16
ユーロ	110.00	132.53

② 主要製品売上収益予想

(単位:億円)

	2016年度 修正予想(注1)	当初予想との比較			前期比較		
		当初予想(注2)	増減額	増減率%	2015年度実績	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	3,130	3,008	122	4.1	3,080	50	1.6
レミケード	664	625	38	6.2	694	△ 30	△ 4.3
シンボニー	254	233	21	9.1	129	125	97.4
タリオン	191	173	18	10.4	168	22	13.4
テネリア(注3)	174	174	△ 0	△ 0.3	141	32	23.2
レクサプロ	125	126	△ 1	△ 0.8	95	30	31.8
セレジスト	123	122	0	0.5	141	△ 18	△ 13.2
メインテート	114	107	7	6.8	134	△ 20	△ 15.1
クレメジン	74	73	1	1.4	92	△ 18	△ 19.6
デバス	62	62	0	0.2	72	△ 10	△ 14.1
ウルソ	60	67	△ 7	△ 10.9	81	△ 21	△ 26.5
ラジカット	59	57	1	2.5	72	△ 13	△ 18.5
ワクチン	376	336	40	12.0	390	△ 14	△ 3.6
インフルエンザ	120	111	8	7.9	137	△ 17	△ 12.8
テトラビック	97	85	11	13.7	95	2	2.5
ミールビック	57	40	16	40.4	49	7	15.2
水痘ワクチン	55	55	△ 0	△ 0.6	63	△ 8	△ 13.4
田辺製薬販売取扱品(注4)	144	142	1	0.8	138	6	4.4
海外医療用医薬品	212	217	△ 5	△ 2.6	247	△ 34	△ 14.1
ヘルベッサー	58	61	△ 2	△ 4.2	64	△ 6	△ 9.8
アルガトロバン(ノバスタン)	17	18	△ 1	△ 5.7	23	△ 5	△ 25.1
タナトリル	15	16	0	△ 4.3	15	0	△ 0.2
シンボニー	13	15	△ 2	△ 13.7	12	0	0.8
ロイヤリティ収入等	741	779	△ 37	△ 4.9	866	△ 124	△ 14.4
ジレニア ロイヤリティ	非開示	非開示	-	-	517	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	非開示	-	-	206	-	-
一般用医薬品	43	41	2	5.9	37	5	15.4
その他(注5)	11	17	△ 5	△ 32.1	25	△ 13	△ 53.3
売上収益合計	4,140	4,065	75	1.9	4,257	△ 117	△ 2.8

(注1) 当社は2016年10月25日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) 2016年5月11日 2015年度決算発表時に公表した2016年度業績予想数値

(注3) テネリアの前年同期の売上は、新旧スキームの合算値を示しております。

(注4) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注5) 他社製品の製造受託品等

③ 設備投資／情報システム開発投資予想 (単位:億円)

	2016年度 通期予想	2015年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	146	112	33	29.8
システム投資額／発生ベース	18	9	8	92.3

2016年度の主な設備投資予定		2016年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	108億円	研究開発関係システム	5億円
(吉富工場新製剤棟建設)	(62億円)	生産関係システム	4億円
研究開発関係設備	34億円	その他	9億円
その他	4億円		

④ 減価償却費および償却費予想 (単位:億円)

	2016年度 通期予想	2015年度 通期実績	増減額	増減率%
有形資産	75	72	2	2.8
無形資産(製品に係るものを除く)	16	15	0	2.0
製品に係る無形資産	15	14	0	1.8

4 5ヵ年連結財務数値

日本基準 (億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	4,192	4,127	4,151	4,317
売上原価	1,664	1,694	1,696	1,558
売上総利益	2,528	2,433	2,455	2,759
販管費	1,838	1,842	1,784	1,810
研究開発費	665	704	696	753
営業利益	690	591	671	949
経常利益	694	619	677	948
特別利益	42	153	137	141
特別損失	59	48	186	246
親会社株主に帰属する当期純利益	419	454	395	564

② 貸借対照表

(単位:億円)

	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末
総資産	8,668	8,865	9,293	9,302
流動資産	4,767	5,405	6,036	6,573
固定資産	3,901	3,460	3,257	2,730
負債	1,139	1,086	1,289	1,135
流動負債	861	818	1,054	913
固定負債	277	268	235	222
純資産	7,529	7,778	8,004	8,167

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
営業キャッシュ・フロー	606	699	682	652
投資キャッシュ・フロー	△ 350	△ 243	△ 598	△ 266
財務キャッシュ・フロー	△ 237	△ 211	△ 219	△ 222
設備投資	92	126	157	112
情報システム開発投資	22	21	16	9
減価償却費	84	92	90	88
自己資本比率(%)	86.3	86.4	84.9	86.6
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.7	6.0	5.1	7.1
1株当たり当期純利益(円)	74.67	80.92	70.41	100.60
1株当たり純資産(円)	1,333.22	1,365.52	1,406.41	1,436.63

IFRS基準(億円未満切り捨て)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2015年度	2016年度上期	2016年度予想
売上収益	4,257	2,041	4,140
売上原価	1,558	783	1,630
売上総利益	2,699	1,257	2,510
販管費	963	466	979
研究開発費	646	303	660
コア営業利益	1,069	479	850
営業利益	818	478	840
税引前(四半期)利益	832	494	860
当期(四半期)利益	570	352	620
親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益	593	362	640

② 財政状態計算書

(単位:億円)

	2015年度末	2016年度上期末
資産	9,584	9,654
非流動資産	3,082	2,990
流動資産	6,501	6,663
負債	1,321	1,258
非流動負債	332	297
流動負債	989	960
資本	8,263	8,396

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2015年度	2016年度上期	2016年度予想
営業キャッシュ・フロー	808	313	-
投資キャッシュ・フロー	△ 422	439	-
財務キャッシュ・フロー	△ 222	△ 120	-
設備投資	112	74	146
情報システム開発投資	9	8	18
減価償却費および償却費	103	50	106
親会社所有者帰属持分比率(%)	85.1	85.9	-
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(%)	7.4	8.8	-
基本的1株当たり当期(四半期)利益(円)	105.72	64.70	114.08
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	1,453.71	1,478.82	-

④ 従業員数

(単位:人)

	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度上期末	2016年度末予想
連結	8,835	9,065	8,457	8,125	7,373	7,375
単体	4,850	4,867	4,844	4,780	4,319	4,278

5 四半期業績の推移

(億円未満切り捨て)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2015年度					2016年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想	通期予想 (注1)
売上収益	986 23.2%	1,034 24.3%	1,324 31.1%	912 21.4%	4,257 100.0%	1,054 25.5%	986 23.8%	2,099 50.7%	4,140 100.0%
国内	764 24.2%	747 23.7%	951 30.2%	690 21.9%	3,154 100.0%	804 25.1%	749 23.4%	1,644 51.4%	3,199 100.0%
海外	222 20.1%	286 26.0%	372 33.8%	222 20.1%	1,103 100.0%	250 26.6%	236 25.1%	454 48.3%	941 100.0%
売上原価	354	376	477	349	1,558	400	383	846	1,630
売上原価率	36.0%	36.4%	36.0%	38.3%	36.6%	36.6%	38.9%	40.3%	39.4%
売上総利益	631 23.4%	657 24.4%	847 31.4%	562 20.8%	2,699 100.0%	654 26.1%	603 24.0%	1,252 49.9%	2,510 100.0%
販管費	217 22.5%	246 25.6%	240 24.9%	259 26.9%	963 100.0%	215 22.1%	250 25.6%	512 52.3%	979 100.0%
研究開発費	156 24.2%	162 25.1%	147 22.8%	179 27.8%	646 100.0%	145 22.0%	158 24.0%	356 54.1%	660 100.0%
製品に係る無形資産 償却費	3 25.1%	3 25.1%	3 25.1%	3 24.8%	14 100.0%	3 24.6%	3 24.5%	7 50.9%	15 100.0%
その他損益(注2)	△ 2 -	△ 0 -	△ 0 -	△ 2 -	△ 5 -	0 -	△ 0 -	△ 5 -	△ 6 -
コア営業利益	252 23.6%	245 22.9%	455 42.6%	116 10.9%	1,069 100.0%	290 34.1%	189 22.3%	370 43.6%	850 100.0%
営業利益	252 30.8%	240 29.4%	305 37.3%	19 2.4%	818 100.0%	292 34.8%	186 22.2%	361 43.1%	840 100.0%
税引前(四半期)利益	254 30.6%	242 29.1%	313 37.7%	21 2.6%	832 100.0%	302 35.2%	191 22.2%	365 42.6%	860 100.0%
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益	184 31.2%	172 29.0%	234 39.6%	1 0.2%	593 100.0%	219 34.2%	143 22.5%	277 43.3%	640 100.0%

※ 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注1) 2016年10月25日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しました。

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております。

② 主要製品売上収益

(単位:億円)

	2015年度					2016年度			
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	下期予想	通期予想 (注1)
国内医療用医薬品	742 24.1%	730 23.7%	933 30.3%	673 21.9%	3,080 100.0%	784 25.0%	735 23.5%	1,611 51.5%	3,130 100.0%
レミケード	168 24.3%	176 25.4%	195 28.1%	154 22.2%	694 100.0%	173 26.1%	164 24.8%	325 49.1%	664 100.0%
シンボニー	30 23.4%	31 24.4%	36 28.0%	31 24.2%	129 100.0%	63 24.8%	58 23.1%	132 52.2%	254 100.0%
タリオン	35 21.1%	28 17.0%	47 28.1%	57 33.8%	168 100.0%	41 21.5%	33 17.5%	116 61.0%	191 100.0%
テネリア(注2)	29 21.0%	37 26.1%	42 30.1%	32 22.8%	141 100.0%	38 22.2%	41 24.0%	93 53.7%	174 100.0%
レクサプロ	21 22.5%	22 23.6%	30 31.9%	20 22.0%	95 100.0%	28 22.8%	26 21.3%	70 55.8%	125 100.0%
セレジスト	38 27.4%	34 24.6%	40 28.7%	27 19.3%	141 100.0%	35 28.8%	29 23.8%	58 47.3%	123 100.0%
メインテート	36 27.4%	32 24.0%	37 27.9%	28 20.8%	134 100.0%	33 29.3%	27 24.2%	53 46.5%	114 100.0%
クレメジン	25 27.2%	22 24.8%	25 27.7%	18 20.3%	92 100.0%	21 28.5%	18 24.9%	34 46.6%	74 100.0%
デバス	19 26.7%	17 24.3%	20 27.7%	15 21.2%	72 100.0%	17 27.9%	15 24.7%	29 47.5%	62 100.0%
ウルソ	23 29.0%	20 24.8%	22 27.1%	15 19.0%	81 100.0%	17 29.1%	14 24.7%	27 46.2%	60 100.0%
ラジカット	16 22.8%	17 24.3%	21 30.2%	16 22.7%	72 100.0%	15 26.9%	14 23.8%	29 49.3%	59 100.0%
ワクチン	62 16.1%	82 21.0%	170 43.6%	75 19.3%	390 100.0%	73 19.5%	91 24.4%	211 56.2%	376 100.0%
インフルエンザ	△ 0 △ 0.2%	28 20.4%	92 67.5%	17 12.4%	137 100.0%	△ 1 △ 1.0%	26 21.9%	94 79.0%	120 100.0%
テトラビック	19 20.3%	17 18.1%	35 37.7%	22 23.9%	95 100.0%	27 28.2%	23 23.9%	46 47.9%	97 100.0%
ミールビック	14 29.0%	10 21.4%	12 25.7%	11 23.8%	49 100.0%	17 30.0%	15 27.1%	24 43.0%	57 100.0%
水痘ワクチン	17 28.1%	15 24.3%	16 25.8%	13 21.8%	63 100.0%	14 26.3%	13 25.1%	26 48.7%	55 100.0%
田辺製薬販売 取扱品(注3)	34 24.7%	31 23.2%	39 28.7%	32 23.4%	138 100.0%	35 24.3%	33 23.0%	75 52.6%	144 100.0%
海外医療用医薬品	61 25.0%	77 31.3%	53 21.8%	54 21.9%	247 100.0%	55 26.3%	50 24.0%	105 49.7%	212 100.0%
ヘルベッサー	15 23.2%	16 24.7%	15 24.5%	17 27.6%	64 100.0%	15 25.8%	13 23.2%	29 51.0%	58 100.0%
アルガトロバン (ノバスタン)	4 20.5%	7 34.3%	5 23.4%	5 21.8%	23 100.0%	5 30.5%	4 27.8%	7 41.7%	17 100.0%
タナドрил	4 28.9%	3 23.6%	4 25.8%	3 21.7%	15 100.0%	5 37.2%	3 22.7%	6 40.2%	15 100.0%
シンボニー	3 23.8%	3 23.2%	3 26.1%	3 26.9%	12 100.0%	3 24.2%	3 26.0%	6 49.8%	13 100.0%
ロイヤリティ収入等	163 18.9%	211 24.4%	322 37.2%	169 19.6%	866 100.0%	198 26.7%	187 25.2%	356 48.1%	741 100.0%
ジレニア ロイヤリティ	112 21.7%	146 28.2%	140 27.1%	118 22.9%	517 100.0%	138 -	137 -	非開示 -	非開示 -
インヴォカナ ロイヤリティ	45 22.1%	53 26.0%	67 32.8%	39 19.2%	206 100.0%	49 -	40 -	非開示 -	非開示 -
一般用医薬品	11 31.0%	9 24.8%	9 25.3%	7 18.9%	37 100.0%	10 23.4%	9 21.4%	24 55.2%	43 100.0%
その他(注4)	6 26.2%	5 22.3%	5 20.8%	7 30.7%	25 100.0%	6 57.3%	3 25.7%	2 17.0%	11 100.0%
売上収益合計	986 23.2%	1,034 24.3%	1,324 31.1%	912 21.4%	4,257 100.0%	1,054 25.5%	986 23.8%	2,099 50.7%	4,140 100.0%

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) 当社は2016年10月25日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) テネリアの前年同期の売上は、新旧スキームの合算値を示しております。

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注4) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2016年11月1日現在)

① 自己免疫疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (クローン病における投与間隔の短縮)	日本	申請 (2016年9月)	ヤンセン・バイオテック(米)から 導入
イムセラ/ジレニア (フィンゴリド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	日本、米国、 欧州他	フェーズ 3 国際共同治験	自社創製品 日本はノバルティスファーマ (日)と共同開発、海外はノバ ルティス(スイス)に導出
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	自社創製品
	(乾癬)	欧州	フェーズ 2	
	(クローン病)	日本、欧州	フェーズ 2	
	(炎症・自己免疫疾患)	日本、欧州、 米国	フェーズ 1	
MT-7117	皮膚科用剤 等 (炎症・自己免疫疾患 等)	欧州	フェーズ 1	自社創製品

② 糖尿病・腎疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和 物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	台湾	申請 (2015年3月)	自社創製品
	(糖尿病性腎症)	日本、米国、 欧州他	フェーズ 3 国際共同治験	自社創製品 治験依頼者:ヤンセン リサー チ アンド デベロップメント(米)
	(1型糖尿病)	米国、カナダ	フェーズ 2	自社創製品 ヤンセンファーマシューティカ ルズ(米)に導出
	(肥満・フェンテルミンとの併用)	米国	フェーズ 2	
MP-513 (テネリグリプチン臭化 水素酸塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	申請 (2015年4月)	自社創製品
		欧州	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
MT-2412 (テネリグリプチン臭化 水素酸塩水和物、カナ グリフロジン水和物)	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤 (2型糖尿病)	日本	申請 (2016年8月)	自社創製品
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社創製品
		日本	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	

③ 中枢神経系疾患

治験コード(一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症)	米国	申請 (2016年6月)	自社創製品
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	日本、アジア	フェーズ 2b/3	ゲデオンリヒター(ハンガリー)から導入
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエンス(米)へ導出
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用* (うつ病)	欧州	フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエンス(米)へ導出
MP-124	神経系用剤	米国	フェーズ 1	自社創製品
MT-8554	神経系用剤 等	欧州	フェーズ 1	自社創製品
MT-5199	神経系用剤	日本	フェーズ 1	ニューロクラインバイオサイエンス(米)から導入

*選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/α1Aとα1Bアドレナリン受容体の調節

④ ワクチン

治験コード(一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先
MT-2301	ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン (小児のHib感染の予防)	日本	フェーズ2	ニューロンバイオテック(米)から導入
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ	フェーズ 2	自社創製品
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、カナダ	フェーズ 2	自社創製品
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ	フェーズ 1	自社創製品

⑤ その他疾患

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
TAU-284 (ベボタスチンベシル酸塩)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 (小児・アレルギー性鼻炎、小児・アレルギー性皮膚炎)	中国	申請 (2016年3月)	宇部興産(日)からの導入
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 3	協和発酵キリン(日)に導出
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	千寿製薬(日)に導出
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	サマファーマ(韓)に導出
Y-803	BRD阻害剤 (がん)	欧州、カナダ	フェーズ 2	メルク(米)に導出
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	血液および体液用剤	米国	フェーズ 1	自社創製品
MP-157	循環器官用剤	欧州	フェーズ 1	自社創製品
MT-0814	眼科用剤	日本	フェーズ 1	自社創製品
sTU-199 (テナトプラゾール)	消化器官用剤	欧州	フェーズ 1	ネグマ/シテム(仏)に導出

2016年度第1四半期決算発表時点(2016年8月2日)からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2016年11月1日現在	起源/導出先等
バリキサ (バルガンシクロビル塩酸塩)	抗サイトメガロウイルス化学療法剤 (臓器移植におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制)	日本	記載なし	承認 (2016年8月)	エフ・ホフマン・ラ・ロシュ(スイス)より導入
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性製剤])	米国	申請 (2015年11月)	承認 (2016年9月)	自社創製品 ヤンセンファーマ シューティカルズ (米)に導出
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (クローン病における投与間隔の短縮)	日本	記載なし	申請 (2016年9月)	ヤンセン・バイオテック(米)から導入
	(小児・クローン病)		フェーズ3	削除 (添付文書の使用上の注意改定で対応するため)	
	(小児・潰瘍性大腸炎)		フェーズ3		
MT-2412 (テネリグリブチン臭化水素酸水和物、カナグリフロジン水和物)	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤 (2型糖尿病)	日本	フェーズ3	申請 (2016年8月)	自社創製品

新製品開発状況補足資料(2016年11月1日現在)

① 自己免疫疾患

治験コード(一般名)	補足説明
レミケード (インフリキシマブ[遺伝子組換え])	世界初の抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤。日本で、2002年にクローン病治療剤として発売。その後、関節リウマチ、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎、腸管型・神経型・血液型ベーチェット病の治療剤としての適応も取得。
FTY720 イムセラ (フィンゴリド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制することで免疫調整作用を発揮し、多発性硬化症におけるミエリンの破壊(脱髄)を防止する。国内ではノバルティスファーマと共同で開発し、2011年に多発性硬化症治療薬として製品名「イムセラ」で発売。ノバルティスが日米欧で製品名「ジレニア」で発売。慢性炎症性脱髄性多発根神経炎でフェーズ3(国際共同治験)。日本ではノバルティスファーマとの共同開発。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制し、自己免疫反応を抑制する。イムセラ/ジレニアの後継品。

② 糖尿病・腎疾患

治験コード(一般名)	補足説明
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病の適応で、日本では製品名「カナグル」で2014年9月に発売。ヤンセンファーマシューティカルズが米国で製品名「インヴォカナ」として、また、その関係会社が欧州で販売中。メトホルミンとの合剤[即放性製剤]は欧州で2014年4月、米国で2014年8月に承認を取得した。さらに、2016年9月、メトホルミンとの合剤[徐放性製剤]の承認を取得した。
MP-513 (テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物)	DPP-4阻害剤。食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない2型糖尿病治療剤。日本では、製品名テネリアで2012年9月に発売。
MT-2412 (テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物、カナグリフロジン水和物)	テネリグリプチン(DPP-4阻害剤)とカナグリフロジン(SGLT2阻害剤)の合剤。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。腎保護作用を示す。

③ 中枢神経系疾患

治験コード(一般名)	補足説明
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去作用を有する。日本では、製品名ラジカットで、2001年に脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善薬として発売。2015年6月に日本、同年12月に韓国で、筋萎縮性側索硬化症(ALS)における機能障害の進行抑制の適応を取得。
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト。統合失調症の陽性症状に加え、陰性症状や認知機能障害にも効果が期待される。ゲデオンヒター(ハンガリー)より導入。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用(選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/α1Aとα1Bアドレナリン受容体の調節)。

④ ワクチン

治験コード(一般名)	補足説明
MT-2301	ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン。ニューロンバイオテック(米)より導入。小児のHibによる侵襲性感染症の予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H5N1]の予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。季節性インフルエンザの予防。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H7N9]の予防。

⑤ その他疾患

治験コード(一般名)	補足説明
TAU-284 (ベポタスチンベシル酸塩)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤。2000年に成人のアレルギー性疾患治療剤として発売。
MT-4580	カルシウム受容体作動剤。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤。
Y-803	BRD-ヒストン結合阻害剤。

7 その他

1. 関係会社

① 関係会社数

	2016年度上期末	2015年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	28	28	-	
非連結子会社数	-	-	-	
関連会社数	1	1	-	
合計	29	29	-	

② 連結子会社一覧

(2016年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	吉富薬品	385百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
2	バイファ	100百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	田辺三菱製薬工場	1,130百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
4	田辺製薬吉城工場	400百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
5	田辺製薬販売	100百万円	100.0 (—)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
6	田辺アールアンドディー・サービス	44百万円	100.0 (—)	3月末	休眠会社
7	田辺総合サービス	90百万円	100.0 (—)	3月末	宣伝物制作等
8	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	USD 167	100.0 (—)	3月末	米国グループ会社の経営管理
9	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	USD 200	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
10	MT ファーマ アメリカ	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
11	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
12	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A	USD 3 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
13	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 316.9 Mill.	100.0 (—)	3月末	メディカゴグループへの投資
14	メディカゴ	CAD 377.0 Mill.	60.0 (56.8)	3月末	ワクチンの研究開発・製造
15	メディカゴ U. S. A.	USD 99	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの製造
16	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの研究開発
17	田辺三菱製薬開発(北京)	USD 1Mill.	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
18	天津田辺製薬	USD 16.2 Mill.	75.4 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
19	台湾田辺製薬	TWD 90 Mill.	65.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
20	台田薬品	TWD 20 Mill.	65.0 (—)	3月末	医薬品の販売
21	タナベ インドネシア	USD 2.5 Mill.	99.6 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
22	MT ファーマ シンガポール	SGD 300,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の開発
23	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100 Mill.	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
24	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	GBP 4.6 Mill.	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発
25	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムベーパー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

(注) 上記以外に清算手続中の連結子会社が3社あります。

③ 持分法適用関連会社およびジョイントベンチャー一覧

(2016年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1.6 Mill.	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売

2. 株式の状況

① 発行済株式数

	2016年9月末	2016年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	429,225	428,945
期末発行済株式数	560,988,691	560,988,971
期中平均自己株式数	429,022	428,670
期中平均株式数	560,988,894	560,989,246

② 大株主の状況

順位	株主名	2016年9月末		2016年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	25,689	4.58%	2	25,438	4.53%
3	日本生命保険	12,065	2.15%	3	12,065	2.15%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	11,796	2.10%	4	11,199	1.99%
5	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	5	7,254	1.29%
6	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	6,393	1.14%	7	5,602	1.00%
7	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	6,227	1.11%	6	6,176	1.10%
8	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	3,949	0.70%	8	4,552	0.81%
9	ニプロ	3,821	0.68%	10	3,821	0.68%
10	田辺三菱製薬従業員持株会	3,685	0.66%	9	4,002	0.71%

③ 所有者別株式数分布状況(単元株)

	2016年9月末			2016年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	85	100,006	17.82%	79	101,203	18.03%
外国法人等	558	102,964	18.34%	515	97,796	17.42%
個人・その他(注)	15,386	24,136	4.30%	16,396	25,295	4.51%
その他の法人	242	331,084	58.98%	265	332,740	59.28%
金融商品取引業者	29	3,118	0.56%	36	4,276	0.76%
合計	16,300	561,309	100.00%	17,291	561,311	100.00%
(単元未満株式の状況)	-	108	-	-	106	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2016年9月末429千株、2016年3月末428千株)を含んでおります。

④ 配当金/株価推移

(日本基準)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
1株当たり年間配当金(円)	40	40	42	46
配当性向(%)	53.6	49.4	59.6	45.7
(のれん償却前)	(43.2)	(40.5)	(47.6)	(38.8)
期末株価(円)	1,445	1,443	2,062	1,957
株式時価総額(億円)	8,112	8,101	11,576	10,987

(IFRS基準)	2015年度	2016年度上期	2016年度予想
1株当たり年間配当金(円)	46	24	48
配当性向(%)	43.5	37.1	42.1
期末株価(円)	1,957	2,155	-
株式時価総額(億円)	10,987	12,098	-

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2015年8月に腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病、2015年12月に川崎病の効能を追加し、2016年5月には乾癬の用法・用量の追加(増量)について承認を取得した。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売し、2015年5月に小児(7-15歳)適応の承認を取得した。 オリジン:宇部興産</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
テネリア	2012年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤
<p>当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 β 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈・慢性心不全治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的なβ1遮断剤。極めて高いβ1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともに、生命予後改善の豊富なエビデンスを有する。2011年5月に慢性心不全、2013年6月に頻脈性心房細動の効能をそれぞれ追加。 オリジン:(独)メルクセロノ</p>			
シンポニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNFαをターゲットとした抗TNFα抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)である。ヤンセンファーマは、2016年4月に潰瘍性大腸炎に適応として申請した。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトントランスポータに高い選択性を持つSSRIで、世界98か国の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法・用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。2015年11月に社会不安障害(SAD)適応の承認を取得した。 オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。 オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効能を持つ。</p>			
デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
<p>国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩和作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。</p>			

ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカルスカベンジャー(脳保護剤)
<p>日本で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。筋萎縮性側索硬化症(ALS)を適応として2005年6月にオーファンドラッグに指定され、2015年6月に承認を取得した。</p>			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
<p>既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
<p>麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻しんと風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者(保護者)や医療関係者の負担軽減、麻しんおよび風しんの予防接種率向上に寄与している。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
インフルエンザワクチン	1972年9月発売	薬効	インフルエンザの予防
<p>季節性インフルエンザの予防に用いられる。2015年より、これまでの3価ワクチンから4価ワクチンに変更された。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
水痘ワクチン	1987年3月発売	薬効	水痘及び50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防
<p>水痘(みずぼうそう)の予防に用いられるワクチンで、2014年に定期接種化された。また、2016年、50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に関する効能・効果が承認された。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			

ニュースリリース

2016年4月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2016年 4月4日	海外子会社 MT ファーマ シンガポールに関するお知らせ ～アセアン地域における更なるシェア拡大へ～
4月18日	熊本地震に対する義援金について
4月27日	代表取締役の異動および役員人事に関するお知らせ
4月28日	～楽しみながら知る大阪・道修町！～ 田辺三菱製薬史料館 開館1周年記念「くすりのまち 道修町を知ろう」開催のお知らせ
5月13日	・抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」乾癬における用法・用量の一部変更承認の取得について ・(訂正・数値データ訂正)「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について
5月26日	『糖尿病治療薬カナグリフロジンの発明』平成28年度全国発明表彰「経済産業大臣賞」を受賞(受賞発明適用製品:2型糖尿病治療薬「カナグル錠」)
5月30日	大阪での初認定！女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定で厚生労働大臣から最高ランクの認定を取得
6月6日	グローバルヘルス技術振興基金への資金拠出ー 開発途上国に蔓延する感染症の治療をめざしてー
6月15日	～「走る」ことで難病ALSの疾患啓発を世界中に展開～END ALS RUNへの協賛6月21日の世界ALSデーに先駆けて6月19日にイベント開催
6月16日	・平成28年度全国発明表彰の表彰式が6月15日に開催 「糖尿病治療薬カナグリフロジンの発明」で経済産業大臣賞を受賞(受賞発明適用製品:2型糖尿病治療薬「カナグル錠」) ・「オランザピン「ヨシトミ」など、4品目を販売開始ー 田辺製薬販売 ジェネリック医薬品 新発売のお知らせ
6月20日	・文部科学省後援 小学生の好奇心や探究心を科学の芽として育む「自由研究大賞2016」への協賛 ・日本発のALS治療薬(エダラボン)を米国FDAへ承認申請
6月22日	・【適時開示情報】支配株主等に関する事項について ・【適時開示情報】「指名委員会」および「報酬委員会」設置に関するお知らせ
6月23日	田辺三菱製薬にギュー〜と抱きしめてみんなを元気にするオリジナルキャラクター「たなみん」が誕生！～大阪・道修町に住む大きな青い手を持つ妖精～
6月27日	平成28年度「特定研究助成」 募集のお知らせ
8月17日	ジェネリック医薬品 製造販売承認取得に関するお知らせ
8月23日	2型糖尿病治療用 配合剤 国内製造販売承認申請 選択的DPP-4阻害剤「テネリア錠」およびSGLT2阻害剤「カナグル錠」の配合剤
8月26日	「バリキサ錠450mg」「臓器移植におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制」効能・効果追加承認の取得に関するお知らせ
8月30日	・「田辺三菱製薬 コーポレートレポート2016」発行のお知らせ-持続的成長に向けた田辺三菱製薬グループの取り組みを紹介- ・ALS治療薬(エダラボン)の米国FDAによる承認申請受理について
9月1日	田辺三菱製薬工場株式会社 組織変更および人事異動に関するお知らせ
9月6日	・抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」クローン病に関する用法・用量の一部変更承認申請 ・サンファーマ製品に関する販売提携のお知らせ
9月20日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」第5期(2017年度)助成団体募集のお知らせ
10月4日	抗アレルギー剤「ルパタジン錠」の販売基本契約締結のお知らせ
10月5日	Medicines for malaria Venture社との共同研究により田辺三菱製薬 医薬品化合物ライブラリーからマラリアの新規治療薬開発に向けたヒット化合物を同定ー 開発途上国に蔓延する感染症の治療をめざしてー
10月6日	～女性活躍推進をみんなのアイデアで実現～Googleのプロジェクトでサポーター企業として自社のアイデアや活動を紹介

